

4月10日の研修時にお話しした内容をメモ書きにしたものです。各プレゼンを観る時に参照されてください。10箇条について 審判員の目標について 研究課題について

## 10箇条について

理想とする審判員 = 運営のスペシャリスト + 協調性の高いアスリート（身体的・精神的）

アスリート→正しい位置へ早く

10箇条の肝（モダンハンドボール→スピーディーな展開で魅力在るハンドボール）

- 無駄な中断をしない
- 基準を明確に→ BL・口頭（インフォメーション）・笛  
（判断 → 吹けば責任 した者を有利にするな）  
（なぜ？ 罰則は?? 再開は???)
- ハンドボール感・理念 → どのようなハンドボールをさせたいか??

勇気を持って良い試合を目指す！ 冷静に毅然と。そしてユーモアが持てるように。

- 競技規則への正しい理解で はっきりしたものだけを正確に + 発展性の有無（勝ち・負け）  
ラッキーは審判が作る。。。×
- ※残り10分で明確なものを不正確に吹けば台無し
- 共感力（選手+試合内容への）
- 最小の笛とカードで → ハンドボールの魅力を引き出す（観ている側にわかりやすい・楽しい）

審判員の目標 コンタクトプレーを正しく見極める → 攻守双方に当てはまる

ポイントは？ 両者の位置関係 と 違反を受けたプレーヤーへの影響

許される（8：1）行為

開いた手 曲げた腕 胴体を使う（相手への安全を確保するために支える・ブロックする）  
※これができるれば度合いが強くてもハードプレー  
※ジャンプしている相手にも安全が保証できるボディコンタクトが

ボディコンタクトの見極め

位置・部位・程度 ボディコントロール・相手への影響・違反行為の影響・ボールに対してか？  
横・後ろ（位置）になった時は撮りがちだが・・・正面でも・・・

罰則

2分間を基準にして判断

**【開始 15 分は特に厳しく 戦う 基準を示す（口頭・B L・罰則）】**

前半の終了間際から後半に掛けて罰則を適用する必要がないように

※大会レベル ・ チームレベルを理解した上でが大切

研究課題 モダンハンドボールの考え方 → スピーディーな展開から魅力あるハンドボールを実現

●2分間（8：4）または失格（8：5） → 予防できなかったか？？

予防的なレフェリングを

●流れを重視 （怪我・ボール交換・モップなど）

エリア際の判定 ゴールレフェリーが判定を

ただし

コートレフェリーと連携して

フリースロー・オフenseイブファール・ブロック・ユニフォーム等の判定を。

アクション&重大なリアクションを引き起こさないためにも